

検討委員会の設置と課題の検討について

「これからの振興会の活動目標・方向性について」並びに「財政基盤の確立に向けて」二つの検討委員会を設置し、検討を進め、それぞれの委員会から検討結果の報告を得た。（検討委員会は振興会理事のほかに部外委員若干名で構成）

1. 「これからの振興会の活動目標・方向性について」の検討委員会

令和17年1月に市町村合併、翌18年5月に振興会が設立され18年が経過しようとしている。この間旧柿崎町から引き継いだ事業、行事等を中心に活動を進めてきた。このままでいいのか、今までの活動を総括したうえで、さらなる地域の活性化に向けて振興会の果たすべき役割を確認し、振興会活動の目標・方向性を明らかにしたい。以上の主旨で検討委員会に検討を求めた。

検討委員会の報告要旨

「まとめ」

柿崎地域の住みやすさを実感できる事業や、豊かな地域資源の魅力を発信する事業を積極的に展開していく

「骨子」並びに具体的な提案

1. 柿崎地域の住みやすさを実感できる事業の展開
 - ・若い世代を対象とした定住化促進の施策や振興会の事業に関する意見交換会やアンケート調査の実施
 - ・若い世代の目線で企画、立案した事業の充実強化
 - ・安心安全な地域にするための防災に関する新たな事業の企画立案

2. 柿崎地域の豊かな地域資源の魅力を発信する事業の展開
 - ・米山、大出口地域や海をブランド化した新たな事業の企画立案
 - ・区域内外の人が参加できる事業の企画立案

「事業展開に当たっての留意事項」

- ・行政機関・地域協議会・観光協会・商工会等々地域の各種団体、組織との協力、連携をして行う
- ・各部会の担当事業の見直し、新設と統廃合を視野に再編成が必要
- ・事業の広報活動の強化

2. 「財政基盤の確立に向けて」の検討委員会

会費収入の減少（会員の減少）、基金依存度の増と、基金の減少傾向が顕著になりつつある。近い将来の課題として対策を進める必要がある。

会費の値上げ・行事等の参加費・事業の見直し・経費削減・受託事業の拡大・収益事業に取り組む。以上の主旨で検討委員会に検討を求めた。

検討委員会の報告要旨

「まとめ」

断定的な結論を得るに至らなかったが、以下のような方向性を示す程度となった

1. 会費の値上げ

・会費の値上げは退会者を生む恐れがあるので時期早尚、加入率100%に向けて努力した後に、その結果を見て検討すべきと考える

2. 各事業にかかる経費は物価高騰に伴い多額になっている。参加者負担に多少の増があってもいいのではないか。

3. 事業の見直し

・カレンダーの作成は市の補助金が得られないことから検討が必要

4. 経費削減

・各部会の事業は正会員会費額を超えない範囲で設定できないか
・地域資源活用等推進事業の中で地域独自の予算に振り向けられる事業はないか

・財源のない事業は極力取組まないこと

5. 収益事業に取り組む

・受託事業を増やせないか ・高齢者を対象の事業を何かできないか
・現事務局体制で対応できる受託事業があるか検討する
・NPO 法人として収益事業にどのようなものがあるか、近隣の法人の取組状況などを調査、研究してはどうか
・柿崎かわら版に有償広告を取り入れ、広告収入を見込めないか
・印刷業務をPRし、町内会等の簡単な印刷を広く受注してはどうか

以上が2つの検討委員会から検討結果として報告いただいた要旨です。